

プロフェッショナル フォトゼミナール

2016

創造ある伝統、そして未来へ



西 太一氏作品



小林 かずとも氏作品



上山 毅氏作品

開催のご案内

開催要項

- 開催日 2016年3月29日(火) 9:30~ **1日開催**
- 会場 日本大学芸術学部 江古田キャンパス
(西武池袋線江古田駅北口)
〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1
- 受講料 会員(写真館1人目) ￥14,000(交流会費込み)
同一写真館2人目以降 ￥10,000(交流会費込み)
非会員 ￥20,000(交流会費込み)
- 申込み 平成28年3月11日(金)締め切りです。申込みは受講申込書にご記入のうえ、FAXでお申込みください。なお申込みから順次整理し、1月より「受講票」を発送します。受講料は受講票に記載の期日までに指定口座にお振込みください。

第5回プロフェッショナルフォトゼミナールの ご案内とご挨拶

日本写真館協会理事長 福地 憲一

平成27年度6月より理事長に就任いたしました福地憲一(ふくちのりかず)と申します。会員の皆様におかれましては、日ごろより当協会活動にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。また、非会員の皆様におかれましては、改めまして、このような企画を行っております当協会に少しでも多くのご興味を持っていただければと存じます。

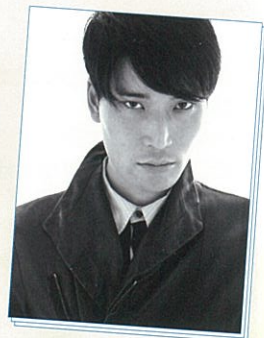
さて、私の任期2年間は「創造ある伝統」「写真館文化の継承」をキーワードに活動してまいります。今回第5回目を迎えますプロフェッショナルフォトゼミナールにおいても、そのキーワードに沿った各種セミナーを行います。また大変ありがたいことに、今回も日大芸術学部写真学科教授および多くの先生のご協力をいただき、最先端の環境においてセミナーを開催する運びとなっております。さらに毎回のセミナーに対しては、日本を代表するカメラ、ストロボ、アルバムほかメーカー、商社の皆様に全面的なご協力と展示をいただいております。まさにアカデミックな環境の中で、最先端の機材メーカー、商社のご提供のもとで行われるプロのためのゼミナールであることは間違いございません。これからの「写真館文化」のビジネスパーソンが備えるべき 新時代に対応する知識と具体的な方策について、今回も素晴らしいフォトグラファー、経営者による講演の数々です。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。



竹中 岩仁氏作品



安部 宣秀氏作品



河野 鉄平氏作品

後 援：日本大学芸術学部、日本大学芸術学部写真学科、日本写真芸術学会

特別協賛：キヤノンマーケティングジャパン(株)、コメット(株)、(株)ニコンイメージングジャパン、日本営業写真機材協会、富士フィルムイメージングシステムズ(株)、プロフォト(株)、リコーイメージング(株)

協 賛：(株)イシクラ、衣裳工房 織花、イメージテック(株)、イメージビジョン(株)、(株)ウイスタ、(株)エグゼック、エプソン販売(株)、(株)エポニー、(有)エレクトレイマン、(株)大矢商事、オベックス ジャパン(有)、(株)オリエンタルホビー、(株)加藤写真印刷所、金丸真(株) 東京営業所、(株)カメラタイムズ社、(株)神原、(株)キョーコロ、(株)クロスワン、京葉椅子製作所、Kプランニング(有)、(株)光陽モネカ、ゴールドデン光機、(株)コスモスインターナショナル、斎藤コロタイプ印刷(株)、(株)ジャパンホビーツール、(株)全進堂、ダイコロ(株) 東京支社、(株)タカハシカメラ、(株)東映堂、東京ラミネックス(株)、(株)トーコロ、(株)富山製作所、トヨ商事(株)、(株)トヨテック、(有)長岡製作所、ニッシンジャパン(株)、(有)ネオ美術工芸、ハーレー(株)、(株)博進堂、(株)ピクトリコ 営業統括部、プロペット(株)、(株)保科、松尾(株) 東京支店 チャイルド事業部、(有)マルティテック、(株)ミニテクノ、(株)宮崎、ユーロペーパージャパン(株)、(株)よしみカメラ、(株)ワイドトレード、(株)和田台紙店

(五十音順/平成27年11月16日現在)

*タイムスケジュール

(講師の敬称は省略させていただきました。)

3月29日(火)		セミナー1	セミナー2
9:30~10:00	受付		
10:00~11:30	開講式・基調講演	「人を撮る」ということ -写真館に生まれ、メディアで飛躍し、写真館として進むことを選択する-平間 至氏の中に、写真館の明日を見る! 講師:平間 至 (スポンサー:富士フィルムイメージングシステムズ㈱) 聞き手:菊田樹子	
11:30~13:15	集合写真・昼食・展示見学		
13:15~14:45	セミナーA/B	A コーポレートブランドステートメント 写真館の存在意義、あるべき姿を考える 講師:西 太一 (スポンサー:日本営業写真機材協会)	B 「創・愛・遊・美」ハートで写真づくり 講師:小林 かずとも (スポンサー:リコーイメージングジャパン)
15:00~16:30	セミナーC/D	C Profotoライトシェーピングセミナー 講師:河野 鉄平 (スポンサー:プロフォト㈱)	D シナリオ、エディティングで1ランク上の感動movieを 講師:上山 毅 (スポンサー:キャノンマーケティングジャパン㈱)
16:45~18:15	セミナーE/F	E 旧来の写真館スタイルを守りながら 新たな写真の魅力を発信! 講師:安部 宣秀 (スポンサー:コメット㈱)	F 折り込みチラシから、リアルな口コミとSNSを使った販促へ 講師:竹中 岩仁 (スポンサー:㈱ニコイメージングジャパン)
18:30	閉講式・交流会	交 流 会	

会場: 日本大学芸術学部 江古田キャンパス (西武池袋線江古田駅北口)

基調講演

「人を撮る」ということ

-写真館に生まれ、メディアで飛躍し、
写真館として進むことを選択する-
平間 至氏の中に、写真館の明日を見る!

講師:平間 至

(スポンサー:富士フィルムイメージングシステムズ㈱)



平間 至氏のメディアでの活躍は周知の通り。広告、雑誌、CDジャケット等を通して多くの人々の心をつかんでいる、言わずと知れた業界の第一人者である。2015年9月25日、平間氏、福地理事長、武藤副理事長の濃密な会話が行われ、平間 至氏のプロフェッショナルフォトゼミナール参加が現実となった。

写真館、この文化の伝統を継承しなくてはならない。

平間氏の生家である平間写真館は、89年前、平間氏の祖父、平間甲子氏が宮城県塩竈市に開業。二代目は父、平間 新氏。2003年に休業することになるが、三代目平間 至氏は、2015年1月18日、「平間写真館TOKYO」を東京・三宿にオープン。写真館を継承する。写真を作る、発信する、そして人と人をつながる場所である。

平間 至氏の世界、写真...そして今、写真館とは写真は記録・記憶・表現。

写真館は記憶を作るところであり、記録を残すところでもある。この点がメディアとの大きな違いであると指摘する。オーソドックスであることの難しさと大切さを痛感し、混沌としている現在だからこそ、今、写真の原点に立ち戻る。そして、その場所が写真館であった。2011年3月11日 東日本大震災は、平間氏に改めて写真について考える機会となり、自身の方向を左右することとなる。写真と写真館の明日に向かって。

《プロフィール》

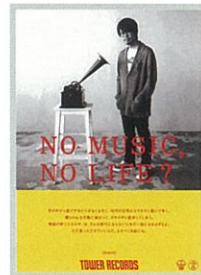
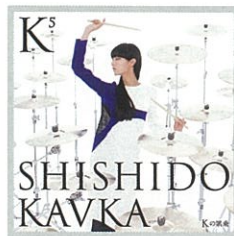
1963年、宮城県塩竈市に生まれる。日本大学芸術学部写真学科を卒業後、写真家イジマカオル氏に師事。躍動感のある人物撮影で、今までにない

スタイルを打ち出し、写真から音楽が聞こえてくるような作品により、多くのミュージシャン撮影を手掛ける。近年では舞踊家の田中 泯氏の「一場踊り」シリーズをライフワークとし、世界との一体感を感じさせるような作品制作を追求している。2006年よりゼラチンシルバーセッションに参加、2008年より「塩竈フォトフェスティバル」を企画・プロデュース。2009年よりレンタル暗室&ギャラリー「PIPO」をオープンし、多彩なワークショップを企画する等、フィルム写真の普及活動を行っている。

2013年には、俳優・綾野 剛写真集「胎響」(ワニブックス)や、田中泯氏の写真集「Last Movement-最終の身振りへ向けて-」(博進堂)の発表と共に個展も行い、大きな注目を集めた。2012年より塩竈にて、音楽フェスティバル「GAMA ROCK」主催。

(HIRAMA PORTRAIT STUDIO HPより)

www.itarujet.com/hirama-shashinkan.jp/



《聞き手》 菊田樹子 きくた みきこ

インディペンデント・キュレーター。株式会社リクルートに勤務後、イタリア・ボローニャ大学にて視覚美術史を学ぶ。2000年より東京を拠点とし、欧州と日本でこれまでに50を越える写真・現代アート展のキュレーションを行う。現在、『日本に向けられたヨーロッパ人の眼・ジャパントゥデイ』写真プロジェクト、塩竈フォトフェスティバルのアーティスティックディレクター。

A | コーポレートブランドステートメント 写真館の存在意義、あるべき姿を考える

講師:西 太一

(スポンサー:日本営業写真機材協会)



テクノロジーが急激に進化し、すべての価値観が変わってきている今、大きく文明・文化が変化する時代になりました。この時代の変化をチャンスと捉え、写真館が飛躍するか! はたまた消滅するか! の境目は、この変化をチャンスに変えるビジョンを持っているかどうかではないでしょうか。

某写真団体の国際室長の時代に「外枠から物を見る」客観的思考癖がつき、周知の知識を集め時代を感じながら行動して行くことで、様々なことを経験してきました。息子には『大変な親父』だったと思います。しかしその「勝手にどんどん新しいことをやってきた」おかげで素晴らしいスタッフたちに恵まれたと感じています。

このゼミナールでは、マーケティングやシステム、またヘアメイク・コーディネーター・衣装などの各専門スタッフが「お客様とどう繋がるか」を常に考え、各スタッフが総合的に「写真館のあるべき姿」を考えていけるような写真館のビジョンを提供できればと思います。

知恵を絞って写真を通して未来志向のビジョンを語り合えたら最高ですね! よろしく願います!

《プロフィール》

1956年1月17日生まれ。愛知県名古屋市(菊ミカサ写真館、㈱スタジオオノーブルム 代表取締役。スタジオ事業としてライフスタジオ名古屋、日進店、フェースミカサを行う。別会社として、スタジオオノーブルムを設立。デジタルテクノロジーの進化に伴い、写真映



像を基軸として、総合職としての写真館経営を考える。

B | 「創・愛・遊・美」ハートで写真づくり

講師：小林 かずとも

(スポンサー：リコーイメージングジャパン)



「写真館」って地域になくとも生活はできる

けれど・・・あって良かったと思われるその価値観を大切にしたいですね。何に期待して来店してく

れるのか、その期待以上の商品とサービスそして遊び心をくすぐる楽しい時間をお客様と共有している写真館「愛感動」クリエイティブスタジオから一つでもヒントにしてください。実技は「光を遊ぶ」をテーマに、ペンタックス645Zでの撮影を行います。

《プロフィール》

58歳になりましたが、精神は38歳で止まっています。。写真館だから出来る事！写真館だから期待される感性と自由！そんな毎日です。コニカミノルタグランプリ 富士コン2015 銀賞 娘が(笑)。肖像写真コンテスト 日本写真館協会賞 写真館大賞 優秀賞 他。30代から40代まで県やメーカー等の講師やコンテスト審査で勘違いし自己嫌悪になり、ようやく少しは現実と伴ってお話出来る様になりました。



C | Profotoライトシェーピングセミナー

講師：Profoto公認講師 フォトグラファー 河野 鉄平

(スポンサー：プロフォト(株))



写真を撮る行為は光を操る先にあるものです。そして、ライティングは自ら光をつくり出し演出することで、目の前の被写体をより魅力的に表現していく作業です。つまり、ライティングは単に被写体を明るくするためだけのアイテムではありません。撮り手のイメージをより深く突き詰めるためにこそ存在します。

本セミナーではProfotoの120種類を超えるライティングアクセサリの中から、アンブレラ、ソフトボックス、ハードリフレクターなど、普段の仕事で即戦力となる汎用性の高い数種類をピックアップ。基本の1灯ライティングから実践的な多灯ライティングまで、

個々のアクセサリの特徴やライティングのコツを織り交ぜながら紹介していきます。また、ストロボは携帯性に優れTTL機能にも対応し、ロケ撮影などにも便利な最新鋭のバッテリーストロボ ProfotoB1、B2



をメインに使用します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

《プロフィール》

1976年東京生まれ。明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業。写真家テラウチマサト氏に師事。写真雑誌「PHaT PHOTO」の創刊に参画。2003年独立。コマーシャル全般の撮影の他、カメラ雑誌などでの執筆も多数。現在マニュアル本の著書は30冊以上。著書に「定番ストロボライティングの教科書」(インプレス)、「ポートレートの新しい教科書」(MdNコーポレーション)など。Profoto公認トレーナー。

<http://fantastic-teppy.chips.jp>

D | シナリオ、エディティングで1ランク上の感動movieを

講師：上山 毅

(スポンサー：キャノンマーケティングジャパン(株))



一眼レフ動画が誕生し、早6年ほどになりますが徐々に一眼レフ動画を導入し、movie商品を展開されてるスタジオも増えてきました。肉声メッセージを盛り込み、記録価値を高めた映像商品の製作をお話する機会が多かったですが、今回は、映像のクオリティはもちろん内容の質を高める上で非常に大切な『映像構成』や動画制作においての『上手く魅せるテクニック』などミュージックPVやCM動画をサンプルにお話させて頂ければと思います。

《プロフィール》

STUDIO UEYAMA P.C.S / photo therapy timegraph 代表。1971年生まれ。兵庫県出身。1994年に帰郷、2004年に代表継承し、屋号をSTUDIO UEYAMA P.C.Sに改称。2005年フルデジタルシステムの導入に伴い、スタジオを全面改装。自然光をメインにした全壁面撮影可能な室内背景型スタジオと普段着などの衣裳を導入し動きのあるナチュラルな表現の写真制作をはじめ

める。2010年にphoto therapy timegraphを姫路市にOpen。近年では一眼レフ動画を用いて、取材番組の映像制作も手掛けるなど幅広い分野で写真や動画と意欲的に活動。



E | 旧来の写真館スタイルを守りながら新たな写真の魅力を発信!

講師：安部 宣秀

(スポンサー：コメット(株))



当店では大型店、チェーン店には出来ない事。当店だから出来る事をテーマに「これからは待ちの商売ではなく攻めの商売」の取り組みを始めました。たとえば、個人のプロフィール写真、終活写真、肖像写真。スタジオで撮影するのではなく、その場所に向向いての撮影。お客様の店舗の中であつたり、部屋の中であつたり。お気に入りの場所であつたり。その場所で撮影する事で、お客様らしく、満足し

て頂ける写真が提供できるのではないかと思います。定常光(自然光、LED etc)での撮影、ストロボでの撮影、色々ありますが、機材を選ぶのが大変、機材が入るようなスペースがない。そこで、今回はコンパクトな機材で、そして小スペースで撮影出来るライティング(ストロボ)をご紹介したいと思います。それと、通常使っているスタジオでのストロボ撮影(如何に光をコントロールするか)を紹介したいと思います。

《プロフィール》

昭和41年12月20日生まれ 49歳 4年間の修行を経て1990年安部写真館の二代目になる

(現在も修行中)。福岡県飯塚市で両親、妻の4人で営む。富士営業写真コンテスト 2002年から14年連続入賞。2012年銀賞、2006年、2010年銅賞。2003年、2007年、2008年、2009年、2011年優秀賞。



F | 折り込みチラシから、リアルな口コミとSNSを使った販促へ

講師：竹中 岩仁

(スポンサー：(株)ニコンイメージングジャパン)



会社を設立して7年目。当初は膨大な経費を使って折り込みチラシでの販促をしていました。毎月のチラシ制作に追われる割には良くならない売り上げ。自分がいいと思う写真を撮ってもそれがお客様に評価されない日々…。そこで、自社がいったい誰に何を提供でき、それによってお客様にとってどういうメリットがあるのかを考え直しました。お店作り、商品ラインナップ、スタッフのモチベーションアップから、ブログ、各種SNSを使っただけの口コミ作戦。その結果、現在は口コミのみでの集客になっています。だれでもかかれでもお客様というわけではなく、自社が理想とする人のみをどうやって顧客にするのかについてのヒントをお話したいと思います。

《プロフィール》

1973年5月6日生まれ。1997年立命館大学卒業、2000年Brooks Institute of Photography卒業。La-vie Factoryロサンゼルス、ハワイでウェディングフォトグラファーとして活動開始。帰国後、実家の写真館

フォトサロン竹中で撮影しながらも雑誌・ウェディングのフリーランス活動も継続。2005年、株式会社トライアングルを設立。写真館「スタジオオレンジ」

ロケーションフォト「Bridal-Sora」の二つのブランドを立ち上げる。現在、同社代表取締役社長。

